

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農村振興局長賞)

九州

・応募主体 大分県日田市

・都道府県・市町村 大分県日田市

・取組分野 発電(バイオガス)、堆肥化

取組概要

生ごみ及び豚糞尿、農業集落排水汚泥、焼酎かす等をメタン発酵させ発電。発酵残渣は液肥・堆肥化し、地域の農家へ提供。栽培された米等は学校給食等に利用。

市内の一般家庭及び事業所から収集した生ごみ(平成18年見込み5000t)、養豚農家から排出される糞尿(同見込み12,000t)、農業集落排水汚泥(同見込み1,300t)、焼酎かす(同見込み1,000t)等をメタン発酵させ発電(同見込み120万kwh/年)、施設内の電力を販売し、余剰電力を電力会社に売電。メタン発酵後の残渣の一部は、液肥・堆肥化、米、麦、白菜等の葉物野菜農家等に提供し、循環型農業の推進を図る。生ごみの分別については、市内自治会ごとの住民説明会や各事業所の個別指導を実施し、徹底。

また、市が開発した総合木材加工団地(ウッドコンビナート)内において、建設廃材等を燃焼させ発電を行う民間大規模施設(日田ウッドパワー:発電出力12,000kwh)が今年度11月より稼働開始、木質バイオマスの利活用も推進。

